









学校選択制度の成果・課題に対する各委員の意見

西東京市での学校選択制度のこれまでの成果及び課題についての検証を整理します。

学校選択制度の成果

内容	評価する委員数（16人中）	懇談会委員からの主な意見
成果はない	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子どもの半数は制度自体を知らないため、成果があるとは評価できない。
特色ある学校づくり	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人気のない学校は、特色のある学校づくりを進めるインセンティブになると思う。 ✓ 競争性を公立の学校に持ち込む論理は理解できない。
学習意欲の向上	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校の特徴を調べて目的意識をもって入学した子どもは充実した学校生活が送れていると思う。 ✓ どの学校に入学しても意欲が出るように学校側が創意工夫すべき事項であると思う。
通学の利便性	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校までの距離が遠い子どもにとって救済措置になっていると考えられる。 ✓ 安全なルートで通学できる学校を選ぶことができる。 ✓ 小学校の学区変更した保護者の半数以上が通学の利便性を理由としているため、ニーズが高いと考える。
学校教育の質的水準の向上	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校の位置や学校施設設備などによって評判が左右されてしまう可能性のある学校選択制では、教員のやる気には繋がらないと考える。 ✓ 学校選択制ではなく、学校運営に対する保護者や地域住民の参画を通じて進めていくコミュニティスクールを通じて、学校教育の質を高めていくことが望ましい。
保護者の関心の向上	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校生活について家庭で話し合うきっかけになると考えられる。 ✓ 保護者アンケートでも、最も低い結果であるため、成果はないと考える。
その他	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 特に中学校は「友人関係」を理由として利用しているケースが多いため、ニーズが高いと考える。 ✓ 人間関係に悩んでいる子どもにとって救いになっていると感じる。

学校選択制度の課題

内容	評価する委員数（16人中）	懇談会委員からの主な意見
学校規模の格差の拡大	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校側の工夫では解決できない地理的要因や風評により、児童生徒数が流出する可能性がある。 ✓ 規模の格差は制度を廃止にしない限り解決されないと思う。 ✓ 小規模校にとっては、学校選択制度により人数が増えることは望ましいことと考える。
教員や教室の確保が困難	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 入学者数が直前まで分からないという事態は、学校にとって大きな負担であると考えられる。 ✓ 学校側の負担の増加は、最終的に子どもたちに対し悪影響を及ぼしていると思う。 ✓ 実施の時期を早めることで、ある程度解消できると考えられる。
登下校の安全性	委員数  (小学生のみ )	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 距離が長くなることで安全性が損なわれるケースもあると思う。 ✓ 通学路を事前に確認し、保護者が安全面に配慮する形であれば問題ないと考える。
地域との関係性の希薄化	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 他の通学区域から幅広く通える制度は、地域で子どもを見守るというコミュニティスクールなどの考えと相反する制度設計になっている。 ✓ 地域づくりは、ほかの方策によって推進すべき課題である。
制度の公平性	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 受入枠がなくて選べなかった人は不公平に感じていると思う。 ✓ 小規模校は受入れできるが、大規模校は選べないという理由ならば子どもも納得してくれると思う。
その他	委員数 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現場の教員の負担にならないように制度設計すべきと考える。

その他の意見

- ✓ 現場の教員や事務職員にもアンケート調査して欲しい。
- ✓ 保護者の立場からは選択肢をなるべく残して欲しい。利用することによるメリット・デメリットを家族と相談しながら決定できるように広報して欲しい。
- ✓ 部活動などを含めた教育格差が生じている状況は改善すべき課題である。
- ✓ 各校の違いが分かるように、校風や教員体制について学校 HP や学校見学を通じて、積極的に情報発信して欲しい。
- ✓ 各中学校の部活動の差がどれくらいあるかによって制度の必要性に影響が出てくると考える。
- ✓ 通学区域については全面的に見直した方がよいと考える。